

休日の中学校部活動の地域移行 現状と課題

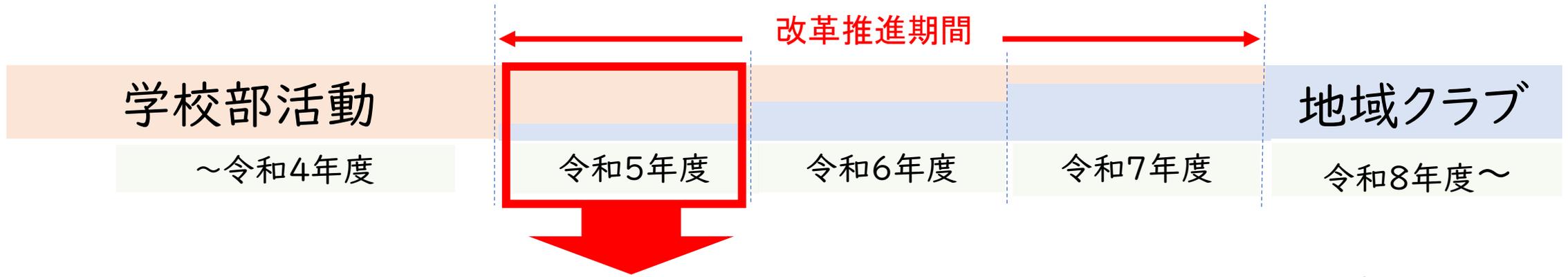
令和5年10月16日

ぎふ魅力づくり推進部

ぎふ魅力づくり推進政策課

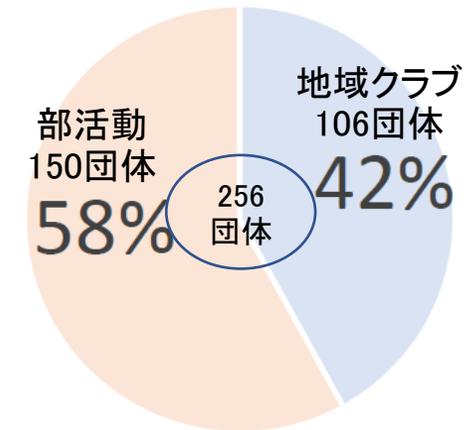
1. 現状
2. 課題
3. 課題への取組
4. その他の課題
5. 持続可能な地域クラブに向けて

1. 現状



		学校部活動		地域クラブ	
		顧問のみ	顧問+地域指導者	総合型地域スポーツクラブ	保護者クラブ
団体数	運動系	29	85	36	68
	文化系	28	8	1	1
	計	57	93	37	69
指導者数	顧問	169	140	—	—
	地域指導者	—	104	45	90
	計	169	244	45	90
生徒数		2764	1707	2595	
7066人 ※全生徒9664人のうち部活動加入率73%					

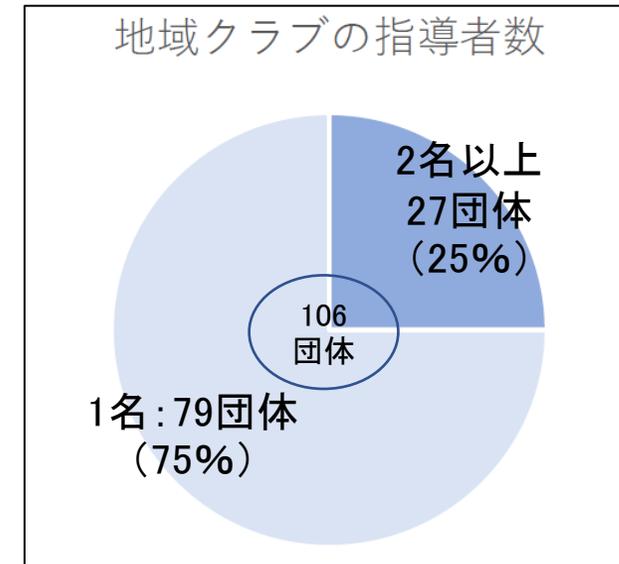
部活動と地域クラブの比率



2. 課題

課題① 地域指導者の不足

		学校部活動		地域クラブ	
		顧問のみ	顧問+地域指導者	総合型地域スポーツクラブ	保護者クラブ
指導者数	顧問	169	140	—	—
	地域指導者	—	104	45	90
	計	169	244	45	90
1団体あたりの指導者数		2.9	2.6	1.2	1.3



※県のガイドラインでは指導者複数体制を推奨

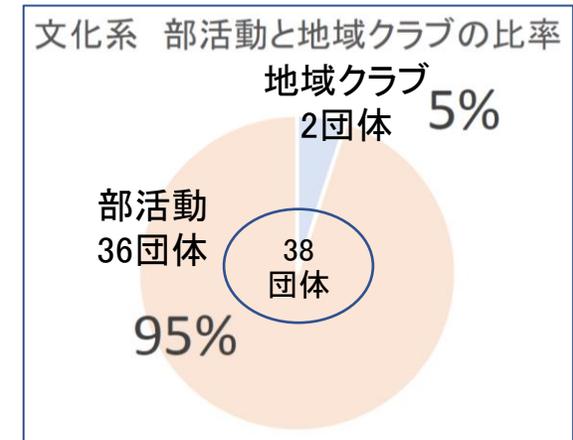
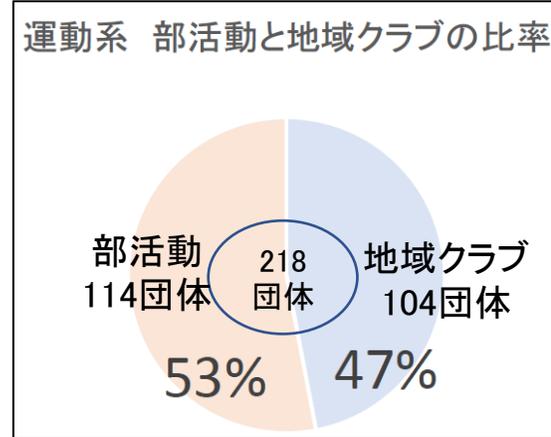
➡ 地域クラブにおいて指導者数が十分ではない

- ☑安全管理上の目が行き届かない可能性
- ☑一人の指導者に役割が集中
- ☑きめ細かな指導が困難

2. 課題

課題② 文化部活動の地域移行の遅れ

		学校部活動		地域クラブ	
		顧問のみ	顧問+地域指導者	総合型地域スポーツクラブ	保護者クラブ
団体数	運動系	29	85	36	68
	文化系	28	8	1	1
	計	57	93	37	69



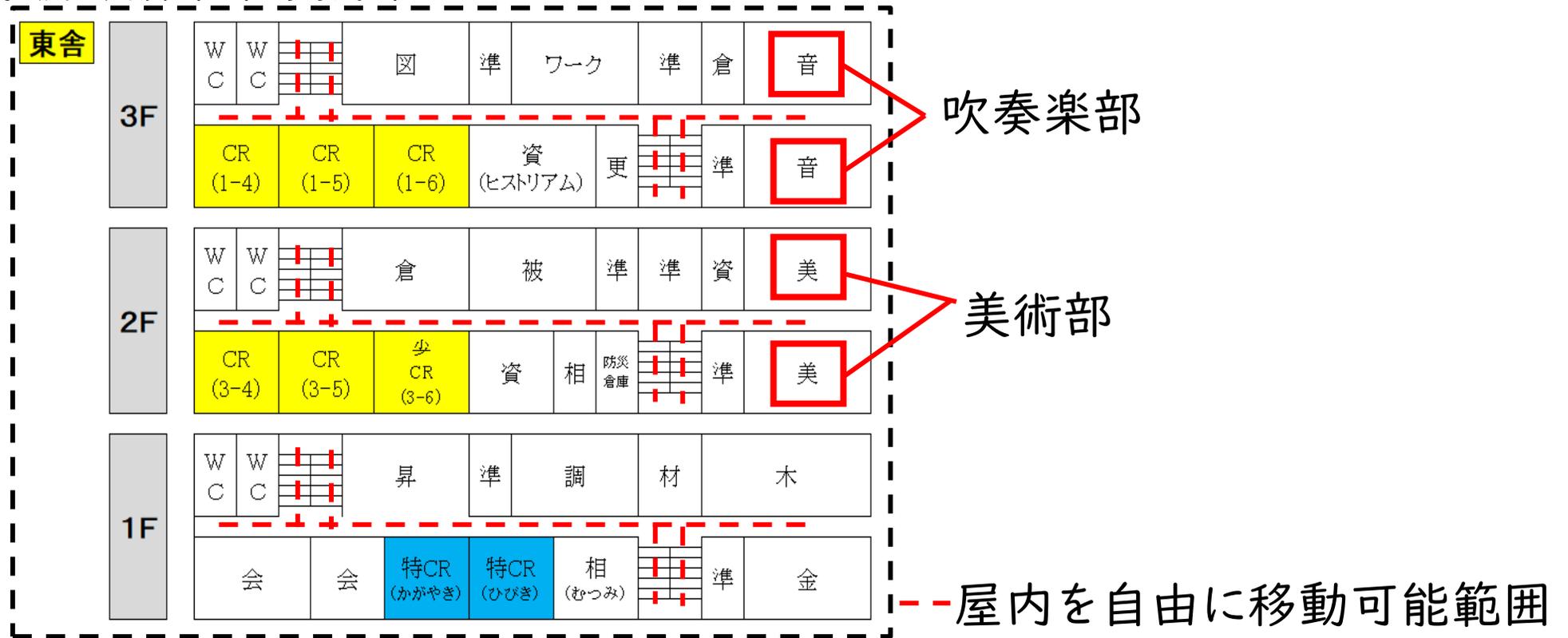
➡ 文化部活動は、運動部活動に比べ、地域クラブへ移行が遅い

☑ 中学生を指導できる人材が少ない

☑ 校舎内の部屋を活動場所とすることが多い

課題② 文化部活動における学校施設の使用状況

(例) 陽南中学校 吹奏楽部、美術部



☑ 休日に学校関係者がいない地域クラブが校舎を使用する場合、
鍵の管理など、セキュリティ面に課題

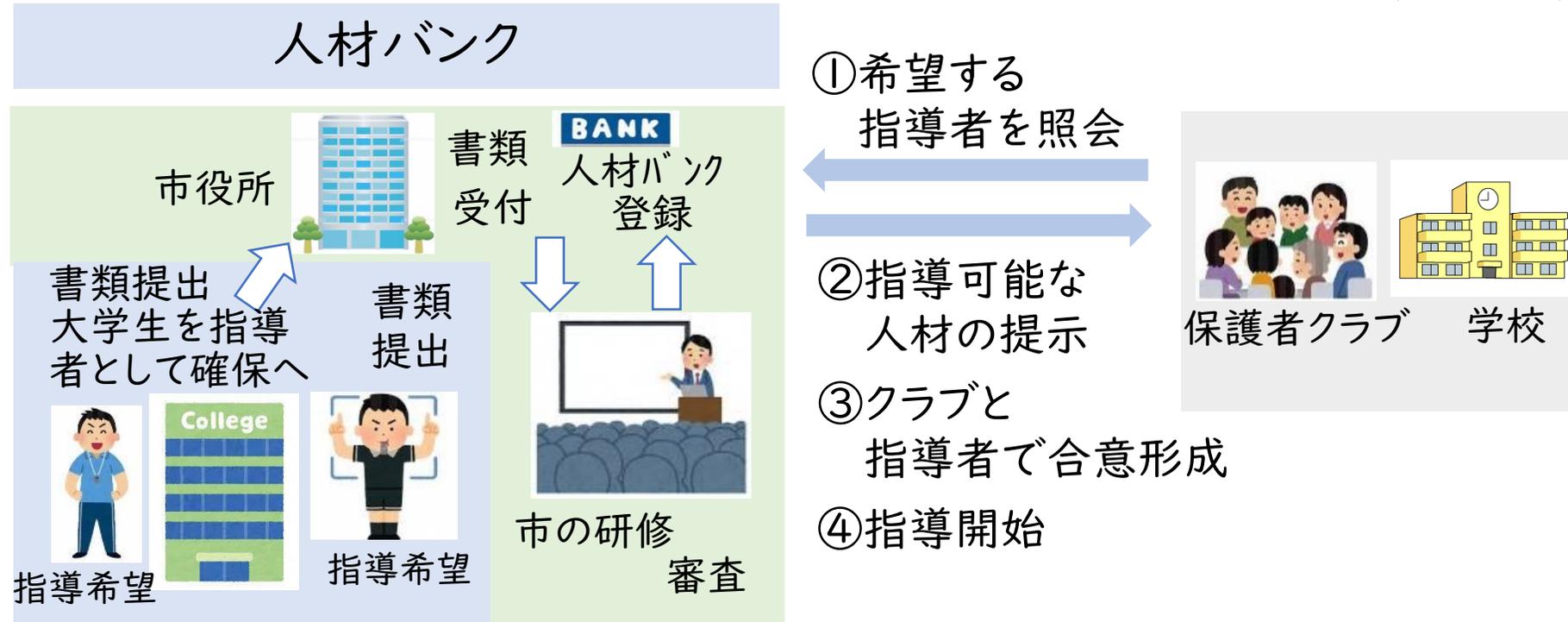
☑ 学校施設でないと活動が困難な団体もある

3. 課題への取組

課題① 地域指導者の確保に向けて

人材バンクの創設

(イメージ)



➡地域クラブが持続的に指導者を確保できる仕組みを構築

☑関係団体や大学部活動

☑指導を希望する学校教員

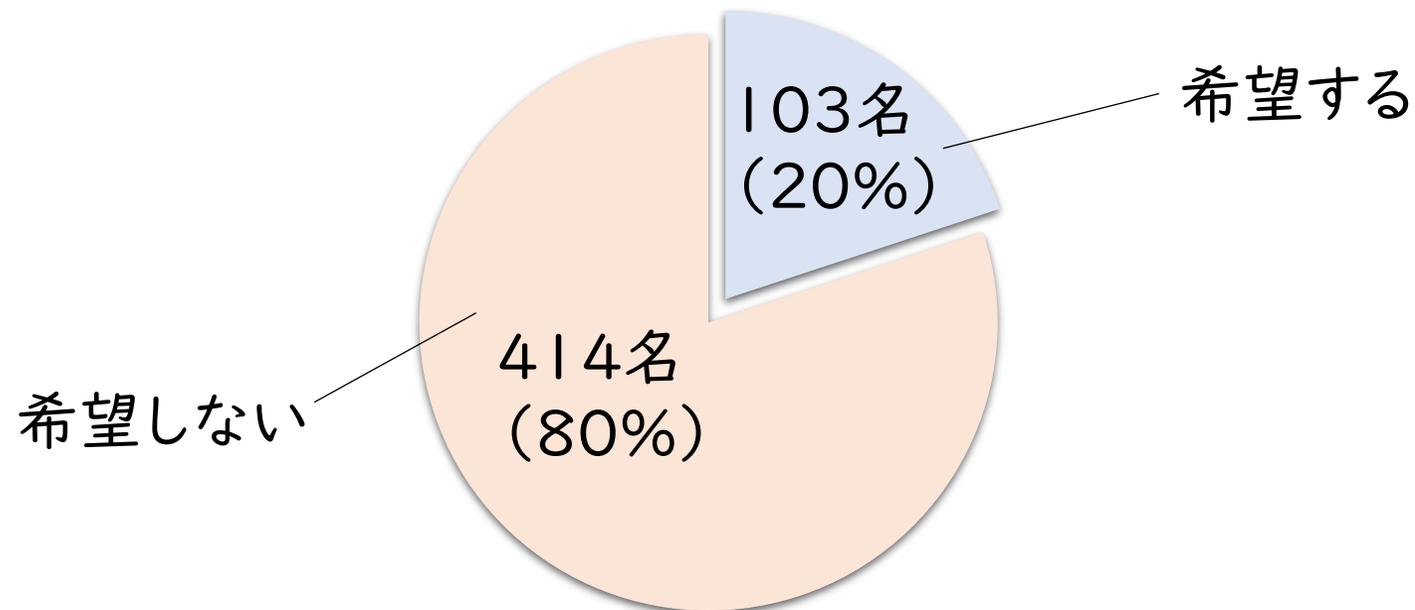
3. 課題への取組

部活動の地域移行に関する調査 (R4.7 岐阜県教育委員会実施)

調査対象者: 市内中学校部活動顧問 517名 / 全教員743名

※養護(助)教諭、栄養教諭を除く

【質問: 地域移行した後も、指導者として指導を希望しますか】



➡部活動顧問の103名(20%)が地域クラブでの指導を希望

- ☑教員も人材バンクの有力な候補
- ☑兼職兼業による指導体制を検討

3. 課題への取組

取組② 文化部活動の活動場所の確保に向けて

➡ 各学校施設の使用ルールを学校、教育施設課と検討

☑ 出入りする昇降口の限定

☑ 活動中の通行可能エリアの制限

(例) 岐阜清流中学校 吹奏楽部



パーティションで通路を遮断

☑ 施設利用者名簿の管理 など

4. その他の課題 (中長期的視点)

岐阜市立中学校における部活動の地域移行懇談会における構成員の声

地域指導者だけで大会引率は大変。



指導に伴う責任の重さと謝金の額が見合っていない。

☑地域指導者のサービスに見合った待遇の改善

保護者の声 (学校関係者聴き取り)

保護者当番が頻繁に回ってくる。1回で2、3時間の拘束はつらい。



トラブルや事故に保護者はどう対応したらよいか不安。

今まで顧問の先生が校舎の開閉していたが、保護者が鍵の受け取り、返却を行うのは大変。

☑保護者に負担の少ないクラブの運営体制の構築

5. 持続可能な地域クラブに向けて



☑改革推進期間（令和5年度から令和7年度）中に
すべての休日の中学校部活動を地域クラブへ移行

☑あわせて、令和8年度以降の中長期を見据え、
持続可能な地域クラブの在り方を検討

☑引き続き、現場の声を聴取するとともに他都市の事例を調査研究

➡すべての生徒が活動機会を保障され、
安定した運営を維持できる地域クラブをめざす